

14 諸資格の取得について

教育職員免許状取得のための単位修得要領等

1) 教員免許状の種類

別表第 4

学 科	教育職員免許状の種類（免許教科）
土 木 建 築 学 科 材 料 ・ 応 用 化 学 科	高等学校教諭の一種免許状（工業）
機 械 数 理 工 学 科	中学校教諭の一種免許状（数学）
	高等学校教諭の一種免許状（数学）
	高等学校教諭の一種免許状（工業）
情 報 電 気 工 学 科	高等学校教諭の一種免許状（情報）
	高等学校教諭の一種免許状（工業）

上記免許状については、必要科目単位数を修得すれば取得可能である。
詳細は、工学部教務担当に尋ねること。

2) 免許を取得するための単位修得方法

1 基礎資格及び最低修得単位数

所用資格 免許状 の種類	基礎資格	教科及び 教科の指 導法に関 する科目	教育の基 礎的理解 に関する 科目等	大学が独 自に設定 する科目	教育職員免許法施行 規則66条の6に定め る科目
中学校一種（数学）	学士の学 位を有す ること	28	27	4	日本国憲法 2単位 体 育 2単位 外国語コミュニケーション 2単位 情報機器の操作 2単位
高等学校一種（数学）		24	23	12	
高等学校一種（情報）		24	23	12	
高等学校一種（工業）		24	23	12	

注1．高等学校一種（工業）の「教科及び教科の指導法に関する科目」には、職業指導2単位を含む。

2．「教科及び教科の指導法に関する科目」及び「教育の基礎的理解に関する科目等」において最低修得単位数を超えて修得した単位については、「大学が独自に設定する科目」として認められる。

3．編入学生は、認定された単位全てが修得単位として取扱いできない場合があるので、工学部教務担当に尋ねること。

2 介護等の体験

中学校の一種免許状を取得しようとする者には、必要な単位の修得のほかに、「介護等の体験」が義務づけられている。

本学部の対象者	内容	実施する場所	体験期間
中学校一種（数学）の免許状を取得しようとする者	障がい者・高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流	特別支援学校 社会福祉施設 その他の施設	最低7日間

次のいずれかに該当する者は、「介護等の体験」が免除される。

契 介護等に関する専門的知識及び技術を有する者（例：介護福祉士、看護師等の資格を有する者）

形 法律上で定める「身体上の障害により介護等の体験を行うことが困難な者」に該当する者

免許状申請の際に、学校・施設が発行する介護等体験の証明書が必要となる。

介護等体験の申込を、実施年度の4月に行う。掲示により周知するので注意すること。

3 「教育の基礎的理解に関する科目」等の単位修得方法

授 業 科 目	単位数	免 許 教 科			
		数 学 (中 学)	数 学 (高 校)	情 報 (高 校)	工 業 (高 校)
教育学概論	2	2	2	2	2
教職入門	2	2	2	2	2
教育の制度と社会	2	2	2	2	2
教育心理学	2	2	2	2	2
特別支援教育原理	1	1	1	1	1
教育課程論	1	1	1	1	1
道德教育の理論と実践	2	2	-	-	-
特別活動及び総合的な学習の時間の指導（進路指導及びキャリア教育を含む）	2	2	2	2	2
教育方法・技術	2	2	2	2	2
生徒指導の理論と方法	2	2	2	2	2
教育相談	2	2	2	2	2
数学科教育	2	2	2	-	-
数学科教育	2	2	2	-	-
数学科教育	2	2	2()	-	-
数学科教育	2	2	2()	-	-
情報科教育法	2	-	-	2	-
情報科教育法	2	-	-	2	-
工業科教育法	2	-	-	-	2
工業科教育法	2	-	-	-	2
(教育実習)					
事前・事後指導	1	1	1	1	1
中等教育実習	2	2	-	-	-
中等教育実習	2	2	2	2	2
教職実践演習(中・高)	2	2	2	2	2
最低修得単位数		35	27	27	27

1. 上記の表中の科目は、必ず修得しなければならない。
(() は、選択科目を表し、数学(高校)の最低修得単位数には含まれない。)
2. 教育実習の履修にあたっては、原則として3年次までに開講される「教職に関する科目」の全てを修得しなければならない。(学年始めに発表する時間割により確認すること。)
3. 高等学校一種(工業)取得の場合は、「教育の基礎的理解に関する科目」等の修得は、当分の間、「教科及び教科の指導法に関する科目」の同数の単位をもって、これに替えることができる。
4. 中学校一種(数学)、高等学校一種(数学)及び高等学校一種(情報)の免許取得にあたっては、2年次終了時より、履修カルテの入力が必要である。
詳細については、2年次のオリエンテーション等で確認すること。

4 「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」の単位修得方法

免許法施行規則に定める 科目及び単位数		左記に対応する授業科目		備 考
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	
日本国憲法	2	暮らしの中の憲法	2	
体 育	2	体育・スポーツ科学	2	
外国語コミュニケーション	2	英語A - 1	1	
		英語A - 2	1	
情報機器の操作	2	情報基礎A	1	
		情報基礎B	1	

5 「教科に関する専門的事項」の単位取得方法

(ア) 「数学(中学校・高等学校)」の免許取得の場合

機械数理工学科

教科に関する専門的事項	授 業 科 目	単位数	
		必 修	選 択
代 数 学	線形代数 ()	2	
	線形代数 ()	2	
	数学演習	1	
	数学演習	1	
	情報数学		2
	情報数学		2
幾 何 学	幾何学基礎 ()	2	
	ベクトル解析		2
解 析 学	微分積分 ()	2	
	微分積分 ()	2	
	解析学基礎 ()	2	
	微分方程式	2	
	フーリエ解析	2	
	複素関数論	2	
	解析数学		2
	解析数学		2
「確率論、統計学」	確率統計 ()	2	
	確率解析		2
	確率解析		2
	統計科学		2
	統計科学		2
コンピュータ	集合と論理 ()	2	
	実験数学A		1
	実験数学B		1
	実験数学C		1
	実験数学D		1

注．上記の表中、必修科目を全て修得しなければならない。

については、一般的包括的な内容を含む科目である。

各科目分類から少なくとも1科目は一般的包括的な内容を含む科目を修得しなければならない。

(イ) 「情報」の免許取得の場合

情報電気工学科

教科に関する専門的事項	授 業 科 目	単位数	
		必修	選択
情報社会及び情報倫理	情報と社会()	2	
	知的財産権		2
コンピュータ及び情報処理 (実習を含む。)	プログラミング方法論()	2	
	アルゴリズム論	2	
	プログラミング演習	1	
	アルゴリズム論		2
	コンピュータアーキテクチャ		2
	制御工学		2
	翻訳系構成論		2
	コンピュータシステム論	2	
	プログラミング演習	1	
情報システム (実習を含む。)	データベース()	2	
	形式言語とオートマトン	2	
	オペレーティングシステム	2	
	数学演習	1	
情報通信ネットワーク (実習を含む。)	情報理論()	2	
	コンピュータネットワーク		2
	情報セキュリティ		2
マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。)	デジタル信号処理()	2	
	プレゼンテーション技術	1	
	音響音声工学		2
	画像処理・パターン認識		2
情報と職業	情報と職業()	2	

注．上記の表中、必修科目を全て履修しなければならない。

については、一般的包括的な内容を含む科目である。

各科目分類から少なくとも1科目は一般的包括的な内容を含む科目を修得しなければならない。

(ウ) 「工業」の免許取得の場合

土木建築学科、機械数理工学科、情報電気工学科、材料・応用化学科は、所属学科（教育プログラム）の専門教育科目（表1～4）から、教科及び教科の指導法に関する科目として職業指導2単位を含み24単位、教育の基礎的理解に関する科目等として23単位、大学が独自に設定する科目として12単位を修得しなければならない。

表1 土木建築学科

教育プログラム名	授業科目	単位数		教育プログラム名	授業科目	単位数		教育プログラム名	授業科目	単位数	
		必修	選択			必修	選択			必修	選択
土木建築学	工学倫理（ ）	2		地域デザイン	工学倫理（ ）	2		建築学	工学倫理（ ）	2	
	安全工学		2		安全工学		2		安全工学		2
	力学	2			力学	2			力学	2	
	力学	2			力学	2			力学	2	
	工学基礎実験	1			工学基礎実験	1			工学基礎実験	1	
	空間デザイン演習	2			空間デザイン演習	2			空間デザイン演習	2	
	空間デザイン演習	2			空間デザイン演習	2			空間デザイン演習	2	
	エンジニアリング・コミュニケーション	1			エンジニアリング・コミュニケーション	1			建築構造力学	2	
	土木計画数理	2			土木計画数理	2			建築構造力学	2	
	土木計画数理	2			土木計画数理	2			鋼構造	2	
	構造力学基礎	2			構造力学基礎	2			建築材料	2	
	構造力学応用	2			構造力学応用	2			建築材料実験	1	
	情報処理基礎	1			情報処理基礎	1			鉄筋コンクリート構造	2	
	情報処理応用	1			情報処理応用	1			建築環境工学	2	
	建設振動学		2		建設振動学		2		建築環境工学	2	
	測量学		2		測量学		2		建築設備計画学	2	
	測量実習		1		測量実習		1		建築設計演習	2	
	応用測量学		2		応用測量学		2		建築設計演習	2	
	水質環境工学	2			都市計画演習	4			建築設計演習	4	
	環境生態保全学	2			公共空間デザイン	4			建築設計演習	4	
	土木デザイン	4			交通計画学	2			建築設計スタジオ	2	
	環境建設材料学	2			景観工学	2			建築計画	2	
	土質力学	2			CAD演習	1			日本建築史	2	
	地盤工学	2			都市地域計画学	2			西洋建築史	2	
	水理学基礎	2			地域防災学	2			都市計画	2	
	水理学応用	2			水質環境工学		2		建築構造力学演習		1
	コンクリート構造学	2			環境生態保全学		2		建築構造力学演習		1
	土木工学実験	2			環境建設材料学		2		鋼構造		2
	河川工学		2		土質力学		2		構造設計法		2
	環境地盤工学		2		地盤工学		2		耐震構造		2
	岩盤工学		2		水理学基礎		2		建築材料		2
	交通計画学		2		コンクリート構造学		2		鉄筋コンクリート構造		2
景観工学		2	職業指導（ ）		2	構造材料設計演習		1			
都市地域計画学		2				建築環境工学		2			
地域防災学		2				建築環境工学演習		2			
職業指導（ ）		2				デザインシミュレーション		2			
						建築計画		2			
						西洋建築史		2			
						近代建築史・保存論		2			
						職業指導（ ）		2			

(注) 所属する教育プログラムの科目を修得すること。
 の科目を必ず含むこと。
 の科目については、一般的包括的な内容を含む科目である。

表2 機械数理工学科

学科名	授 業 科 目	単位数		授 業 科 目	単位数	
		必修	選択		必修	選択
機 械 数 理 工 学 科	工学倫理()	2		機械設計学		2
	材料力学Ⅰ	2		固体の力学		2
	機器製作学通論	2		切削加工学		2
	機械設計学Ⅰ	2		特殊加工学		2
	熱力学Ⅰ	2		成形工学		2
	流体力学Ⅰ	2		接合工学		2
	振動工学	2		熱力学		2
	制御工学Ⅰ	2		流体力学		2
	機械工学実験	1		伝熱工学		2
	設計製図	1		エネルギー変換機器		2
	工学基礎実験	1		流体機械		2
	コンピューター情報処理基礎	2		原子力工学		2
	工業材料	2		センサー工学		2
	工業力学基礎	2		信号処理		2
	工業力学	2		制御工学		2
	プログラミング情報処理	2		ロボット工学		2
	機械製図及びCAD演習	1		数値解析		2
	機器製作実習	1		プロダクトデザイン演習		1
	プロジェクト実習	1		プロダクトデザイン演習		1
	機械システム演習	2		安全工学		2
材料力学		2	職業指導()	2		
機構運動学		2				

(注) の科目を必ず含むこと。
 の科目については、一般的包括的な内容を含む科目である。

表3 情報電気工学科

学科	授業科目	単位数		授業科目	単位数	
		必修	選択		必修	選択
情報電気工学科	工学倫理()	2		量子力学		2
	安全工学		2	電気回路		2
	ものづくり入門実習	1		電磁気学		2
	情報電気電子工学実験	1		電磁気学演習		1
	情報電気電子工学実験	1		制御工学		2
	情報電気電子工学実験	1		デジタル電子回路		2
	情報電気電子工学実験	1		デジタル信号処理		2
	情報電気電子工学創造実験	1		電力発生工学		2
	電気回路Ⅰ	2		電力輸送工学		2
	電気回路Ⅱ	2		電気電子材料		2
	電気回路演習Ⅰ	1		半導体工学		2
	電気回路演習Ⅱ	1		プラズマ工学		2
	電磁気学Ⅰ	2		電気エネルギー変換工学		2
	電磁気学演習Ⅰ	1		パワーエレクトロニクス		2
	論理回路	2		高電圧パルスパワー工学		2
	論理回路演習	1		電気機器設計製図		2
	アナログ電子回路	2		固体エレクトロニクス基礎		2
	電気計測		2	職業指導()	2	

(注) の科目を必ず含むこと。
 の科目については、一般的包括的な内容を含む科目である。

表4 材料・応用化学科

教育プログラム	授業科目	単位数		教育プログラム	授業科目	単位数		教育プログラム	授業科目	単位数	
		必修	選択			必修	選択			必修	選択
応用生命化学	工学倫理()	2		応用物質化学	工学倫理()	2		物質材料工学	工学倫理()	2	
	安全工学()	2			安全工学()	2			安全工学()	2	
	物質材料工学基礎	2			物質材料工学基礎	2			物質材料工学基礎	2	
	物理化学	2			物理化学	2			結晶学	2	
	物理化学	2			物理化学	2			結晶回折学	2	
	分析化学	2			分析化学	2			格子欠陥学	2	
	分析化学	2			分析化学	2			結晶塑性学	2	
	反応工学	2			反応工学	2			材料力学	2	
	無機化学	2			無機化学	2			物性物理学基礎	2	
	有機化学	2			有機化学	2			物性物理学	2	
	高分子化学	2			高分子化学	2			固体物性学	2	
	有機化学	2			有機化学	2			移動速度論	2	
	環境調和化学	1			環境調和化学	1			状態図と熱力学	2	
	量子化学	2			量子化学	2			固体内の拡散	2	
	化学実験	4			化学実験	4			相変態論	2	
	化学実験	4			化学実験	4			材料物理化学	2	
	化学実験	4			化学実験	4			材料電気化学	2	
	化学実験	4			化学実験	4			プログラミング演習	2	
	化学実験	4			化学実験	4			機械設計製図演習	1	
	生化学		2		生化学		2		物質材料工学実験・基礎編	1	
無機化学		2	無機化学		2	物質材料工学実験・応用編	2				
電気化学		2	電気化学		2	物質材料工学演習	2				
有機分子構造化学		2	有機分子構造化学		2	破壊工学		1			
生化学		2	分離工学		2	塑性加工学		1			
バイオテクノロジー		2	高分子物理化学		2	電子材料工学		1			
職業指導()	2		職業指導()	2		セラミックス材料工学		1			
						機能材料学		1			
						磁性材料工学		1			
						磁性材料工学		1			
						粉体加工学		1			
						粉体加工学		1			
						鉄鋼材料学		1			
						非鉄金属学		1			
						凝固工学		1			
						鉄鋼製錬工学		1			
						非鉄製錬工学		1			
						腐食防食学		1			
						職業指導()	2				

(注)
 所属する教育プログラムの科目を修得すること。
 の科目を必ず含むこと。
 の科目については、一般的包括的な内容を含む科目である。